

2020 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科  | 言語聴覚士学科   |                 | 科 目 区 分   | 専門分野     | 授業の方法  | 講義            |
|--|-----------|-----------------|---|----------|--|---------------|
| 科 目 名  | 運動障害性構音障害 |                 | 必修/選択の別   | 必修       | 授業時数(単位数)                                    | 60 (2) 時間(単位) |
| 対 象 学 年  | 二年次・三年次   |                 | 学期及び曜時間   | 通年 金曜3限他 | 教室名  | 404/405教室     |
| 担 当 教 員  | 門脇康浩      | 実務経験と<br>その関連資格 | 介護老人保健施設、病院で言語聴覚士として言語聴覚障害、摂食嚥下障害のリハビリテーションを実施していた。 |          |  |               |
| 《授業科目における学習内容》   |           |                 |   |          |  |               |
| 運動障害性構音障害の概念と種類・特徴、また検査から訓練実施についての基本的知識を習得し、検査演習を通して検査結果の考察、訓練計画の立案、訓練の演習を行ない、実際の臨床に即した知識・技術を習得する。 |           |                 |   |          |  |               |
| 《成績評価の方法と基準》   |           |                 |   |          |  |               |
| 筆記試験(100点)で評価する。   |           |                 |   |          |  |               |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》  |           |                 |   |          |  |               |
| 【教科書】「標準言語聴覚障害学 発声発語障害学」 医学書院 「ディサースリア臨床標準テキスト」 医歯薬出版<br>配布資料                                      |           |                 |   |          |  |               |
| 《授業外における学習方法》  |           |                 |   |          |  |               |
| 授業後のレポート課題、および検査練習   |           |                 |   |          |  |               |
| 《履修に当たっての留意点》  |           |                 |   |          |  |               |
| 2年次に30時間、3年次に30時間を履修する。3年次の講義終了後に行われる定期試験によって評価し、科目認定を行う。  |           |                 |   |          |  |               |
| 授業の方法  | 内 容       |                 |   | 使用教材     | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                        |               |
| 第1回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 構音障害の概念と分類について理解し、説明できるようになる。                       | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |               |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 運動障害性構音障害の概念と分類                                     |          |  |               |
| 第2回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 上位運動ニューロンと下位運動ニューロンについて理解し、説明できるようになる。              | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |               |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 上位運動ニューロンと下位運動ニューロン                                 |          |  |               |
| 第3回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 発声・発語の仕組みについて理解し、説明できるようになる。                        | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |               |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 発声発語の仕組み①   |          |  |               |
| 第4回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 発声・発語の仕組みについて理解し、説明できるようになる。                        | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |               |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 発声発語の仕組み②   |          |  |               |
| 第5回  | 講義形式      | 授業を通じての到達目標     | 原因疾患とタイプ分類について理解し、説明できるようになる                        | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |               |
|  |           | 各コマにおける授業予定     | 原因疾患とタイプ分類①   |          |  |               |

| 授業の方法 |        | 内 容         |                               | 使用教材     | 授業以外での準備学習の具体的な内容                            |
|-------|--------|-------------|-------------------------------|----------|--|
| 第6回   | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 原因疾患とタイプ分類について理解し、説明できるようになる。 | 教科書、配布資料 | テキストによる自主学習                                  |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 原因疾患とタイプ分類②                   |          |  |
| 第7回   | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる。         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 運動障害性構音障害の評価(短縮版)             |          |  |
| 第8回   | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる①         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査①                           |          |  |
| 第9回   | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる②         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査②                           |          |  |
| 第10回  | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる③         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査③                           |          |  |
| 第11回  | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる④         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査④                           |          |  |
| 第12回  | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 検査の内容を理解し、実施できるようになる⑤         | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査⑤                           |          |  |
| 第13回  | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 訓練方法について理解し、実施できるようになる。       | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 検査⑥                           |          |  |
| 第14回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 訓練方法について理解し、実施できるようになる。       | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 運動障害性構音障害の訓練①                 |          |  |
| 第15回  | 講義形式   | 授業を通じての到達目標 | 訓練方法について理解し、実施できるようになる。       | 教科書、配布資料 | 配布資料の通読とまとめ、授業内容のまとめ、授業終了時に示す課題を実施、参考テキストの精読 |
|       |        | 各コマにおける授業予定 | 運動障害性構音障害の訓練②                 |          |  |